



## 不法投棄防止策について

札幌 章俊 議員



**議員** 不法投棄防止の簡易看板の提供と、LINEによる不法投棄の通報システムを導入しては。都市整備部長 本年1月

## 原動機付自転車の規制について

**議員** 高校生・大学生に対してモベット（ペダル付き原動機付自転車）、電動キックボードの新たな交通法規の指導に取りかかるべきと考えます。  
**総務部長** まずは中学生に対して、モベットや電動キックボードを運転する上での運転免許、ナンバー

**議員** 子連れ出勤で保護者が子どもと一緒に職場に来て仕事ができる環境を推進すべきと考えます。  
**総務部長** 子連れ出勤を常時可能とすることは難しいですが、預け先の一時的な閉鎖や、世話をしている

## 奨学金返還支援について

大野 みどり 議員



**議員** 若い方の移住定住の促進を図る目的として「奨学金返還支援制度」を実施すべきと考えますが、いかがでしょうか。

## 高齢者ごみ出し支援事業について

**議員** 当事業「おはようSUN訪問収集」の直営からシルバー人材センター等への委託について考えます。  
**都市整備部長** 令和5年度において、シルバー人材センターとの間で、当該事業の業務委託の可否

## 障がいのある方への合理的配慮義務化の取組について

**議員** 視覚障がい者を手助けする「投票用紙補助具」の導入についての見解は。  
**総務部長** 視覚に障がいがある方が、投票用紙に記載を行う際の一助となる

## HPVワクチン キャッチアップについて

山宮 留美子 議員



**議員** 国が積極的勧奨を控えていた時期に接種出来なかつた平成9年4月から平成20年4月1日までに生まれた女子に対し、全額国費で接種出来るキャッチアップ制度が、令和4年4月から始まりました。しかし、令和7年3月末で無料の期限が終了致します。自費で接種すると10万円ほどかかるこのワクチンですが、国費で接種しようとするならば、半年かけて3回接種しなければなりません。今年の9月までには第一回目の接種をしなければ無料の機会を逃してしまいます。

今後の取り組みは、市内の高校と連携し、保健師が直接高校に赴き出前勧奨を実施し、子宮頸がんに対する認知を高めるための啓発を行っていく予定です。

## 掲載以外の質問項目

◆給食費の無償化について  
◆子育て応援クーポンについて  
◆子どもにやさしいまちづくり事業の推進について  
◆公立小中学校体育館への空調設備設置について

## 一人暮らしの高齢者急増

### 急がれる対応!!

杉野 五郎 議員



議員 社人研が「日本の世帯数の将来推計」を4月12日付で公表。それには、令和32年に、一人暮らし高齢者が一千万世帯を超え全世帯の20.6%、65歳以上の世帯に占める割合は45.1%と急上昇するとの事。当市での当該高齢者の現状と見通しはどうですか。

**福祉部長** 昨年の実態調査では、一人暮らしの高齢者は3351人でした。今後も全国推計のよりに増加の見通しです。  
**議員** 一人暮らし高齢者の急増は確実です。市での対応はどうですか。  
**福祉部長** 毎年実態調査をしています。この調査は、民生児童委員が高齢者宅を訪問し、事故や急病などの緊急時における親族との連絡体制の確保を図り、その方に適した支援へ繋げる役割を担っています。事故や急病時



▲これではとても不安です!

## 市民農園の拡充について

### 耕作放棄地の課題解決策

後藤 光秀 議員



議員 龍ヶ岡市民農園と豊作村レンタルファームはいずれも96〜100%と高い利用率で推移している。大半が継続利用者ということであれば、もっとエリアを拡大し、更に手軽に利用できる市民農園を拡充してはどうか。耕作放棄地となっている土地はかなり多く存在しており、例えば農地所有者と連携して利用希望者とをマッチングできる市独自のサービスなど。高齢化が進んで農機具を使用していない方も多く、機材のレンタルも含めたサービスができれば、耕作放棄地の解消にも繋がるのではないかと考えます。

**市民経済部長** 個人間で農地の賃借が行われるケースもあり、農地所有者と借手のトラブルが発生することもありました。が、耕作放棄地の増加を抑制するためにも重要なものと認識しており、マッチング制度の導入については、貸借契約において想定されるトラブルや課題、そして貸借希望者のニーズ等も踏まえながら必要に応じて判断してまいります。  
**議員** 様々な課題が深刻になっていて一方で、農業を志す若者は年々増加しています。農地法の手続やトラブルなど、面倒なことがあるからこそ、龍ヶ崎独自の農地バンクアプリが実現できれば、耕作放棄地の課題解決や農業の発展にも可能性があると考えます。龍ヶ崎の土地を無駄にしない新しい視点で、尽力していただきたいと思います。

### 掲載以外の質問項目

◆循環型木質ペレットについて

## 超高齢社会における

### 高齢者の健康長寿について

大竹 昇 議員



議員 国は平成25年に高齢化率25.1%で超高齢社会になり、令和42年に高齢者1人を現役世代1.3人で支える推計値が出され、当市の持続可能な社会に向けた超高齢社会対策が必要不可欠です。当市の令和5年の高齢化率及び必要支援・要介護認定者数の現状と将来推計。要支援・要介護状態になる原因は。

**健康スポーツ部長** 令和5年10月の高齢化率は30.7%、令和22年40.2%。主な原因は、要支援者では、リウマチ等の関節疾患、高齢による衰弱。要介護者では、認知症、脳梗塞等の脳血管疾患です。  
**議員** 健康寿命の延伸について当市の平均寿命と健康寿命の国・県との比較は如何に。高齢者の身体的健康対策として長寿会や流通経済大学と新たな対策は考えられないか。  
**健康スポーツ部長** 当市は令和4年度平均寿命男性80.7歳、平均自立期間80.1歳。女性86.3、83.3。県の自立期間(男性79.6、女性83.8。国の自立期間は男性80.1、女性84.4であり男性は同等、女性は0.5短い。市では龍流連携事業で健康ポールウォーキング講座を開催しています。  
**議員** 人生100年時代の中、街なかウォーカブル推進事業を活用して撞舞通りやまちなかにある歴史・文化資源を結び、歩きたくなるまちづくりが進められませんか。  
**市長** まちなかウォーカブル推進事業ですが、車中心から人中心の空間へと転換を図るまちなかを歩いて移動できる居心地がよく歩きたくなる事業で、事業実施には官民一体となったまちづくり計画で、様々な立場の方と協議する場を設けます。



## 公職選挙法における

### 市議会議員選挙について

藤木 妙子 議員



議員 令和5年4月、龍ヶ崎市議会議員選挙の候補者への立候補の説明について、どのような対応をなされたのか。

総務部長 立候補届出の3か月要件につきまして、転入後間もない候補者には、個別に立候補届出書類の受渡し時、事前審査時等、説明を行ってきたところです。

議員 久保台で4月初めに、村井氏が党の街宣車に乗って龍ヶ崎市議会議員候補村井ですと演説。「まだ選挙は行われていないから、公職選挙法に抵触しますので、何々党公認の村井というおっしゃり方はいかがですか」と申し上げました。そのことで、数人の方々が一緒に運動していらっしゃいましたけれど、皆さん全くご存じないような感じですか。その後、村井氏と私が争うことに

なったのは、非常に残念な思いがしております。このようなことが二度と起きないように、今後の対策をお尋ねしたい。

総務部長 今後、行われる選挙におきましても、先ほど申し上げました立候補者への説明をより丁寧に行い、立候補届出要件の周知を図ってまいりたいと考えております。

また、当該説明の際には、宣誓書において虚偽の宣誓を行った場合は、虚偽宣誓罪に問われる可能性がありますということにつきましても、併せて周知してまいりたいと考えております。

#### 掲載以外の質問項目

◆コロナ前と比較して生活困難世帯の現状と生活保護世帯の増減

◆子育て世代移住増の市独自プラン

◆ごみ収集車の交通安全対策について

## 広がる小中学校の

### 給食費無償化を求める

伊藤 悦子 議員



議員 学校給食は、教育の一貫だからこそ教科書同様に無償と考えます。日本共産党の調査では、県内完全無償化は16市町、中学生のみは4市町です。牛久市は今年4月から中学生は無償です。「牛久市ができて、なぜ市はできないか」と、市民の声です。無償を求めます。

市長 国・県が対応していただきたい。

議員 国は昨年、衆議院文部科学委員会で「保護者が負担する学校給食費を自治体の判断で負担することを妨げない」との答弁です。市長の裁量を求めます。

市長 物価高騰の中で、給食費を改定せず、給食の質や量を減らさず差額補償を継続します。

### 就学援助の拡充について

議員 親の収入で子どもの教育に格差がないように支援するのが就学援助です。中学生入学準備金6万3千円では制服一式、カバンなどの購入には足りません。増額を求めます。国の補助対象にある卒業アルバム代、クラブ活動費、生徒会費も対象にすべきです。

教育部長 支給認定基準

は、生活保護基準の1.3倍までの世帯で、県内市町村で平均的な基準です。クラブ活動費や生徒会費などは生徒の自主的活動であり一律の支給は難しい。

議員 つくば市ではクラブ活動費などは支給対象です。クラブ活動も教育の一環であり、市は対象にすべきです。

## 市長部局に

### 対応の窓口設置を

後藤 敦志 議員



議員 いじめ防止対策推進法第26条では、いじめを行った児童等の保護者に対して当該児童等の出席停止を命じることが規定されています。国会審議を調べると、学校教育法で出席停止措置について規定されていますが、実際にはこの措置があまり取られておらず、その現状を変えたい。いじめ防止法の中では出席停止措置について、積極的に運用させようという意図でこの規定が置かれたことが分かります。しかし当市のいじめ防止基本方針では、この点に触れられておりません。

見直しをする際、いじめ防止法の立法趣旨からも、出席停止制度の適切な運用について当市の基本方針にも明記する必要があると考えますが、ご見解を。

教育部長 いじめに起因する出席停止の措置に関しては、龍ヶ崎市立学校管理規則等に基づいた対応で可能であると考えており、改めていじめ防止法第26条に基づく規定の基本方針への明文化は現在のところ考えていません。

議員 寝屋川市では、従来の教育委員会と学校による教育的アプローチとともに、市長部局にイジメ監察課を設置して、行政的アプローチによる、いじめ防止対策に取り組んでいきます。当市においても、行政的なアプローチとして、市長部局にイジメ対応の窓口を設置することについてのご見解を。

総務部長 こども家庭庁が推進するいじめ防止対策では、学校外からのアプローチによるいじめ防止対策の実証実験が行われています。こうした実証結果も踏まえて、市長部局におけるいじめ対応窓口の設置等の必要性について調査研究してまいりたい。

## 部活動の地域連携・地域移行について

山崎 孝一 議員



**議員** 現在、本市においても少子化により生徒数の減少や、教職員の働き方改革による業務負担軽減の動きを背景に全国的に中学校部活動を学校から地域での活動へ移行する方針が国や県から示されました。そこで本市でも中学校の野球とサッカーについて、令和5年度に671万円の予算を組み本年より実証事業を開始しました。そこで今後の進め方、その区分け方と選手数について伺います。

**教育部長** 今年度の実証事業の進め方ですが、休日の部活動や管理等について、事業者と業務委託契約を締結し、8月から進めていく予定です。地域連携・地域移行する部活動は、野球部とサッカー部を対象とします。具体的には、本市を東西地区に分けて野球



▲野球部とサッカー部で実証事業が始まります

**掲載以外の質問項目**  
◆プロスポーツとの連携について

## 地域公共交通

岡部 賢士 議員



**議員** 来年4月の再編案について、AIオンデマンド交通のエリアをもっと広げ、AI運行エリア外のコミュニティバスは利便性をもっと上げるべきと考えるが、そのようにしないのはなぜか。

**議員** AI運行エリアから外れたうえに、コミュニティバスの利便性が悪くなる地域では不公平感が募り、市長に対する不信感にも繋がりがかねない。市長は不公平な再編案とは考えないのか。

**都市整備部長** AI運行エリア拡大はコミュニティバスの実績、既存交通機関への影響、担い手不足、様々な課題把握には実証実験が必要という考えから、今回は見送った。コミュニティバスは要望と利用との隔たり、民間交通との共存共栄、運行経費の圧縮などの課題を総合的に勘案した。

**市長** それぞれの公共交通機関に応じた特性があり、どういった点を利用、不便と感じられるかも様々かと思う。民間交通を補完するためのAI交通、コミュニティバス、乗合タクシーなので、地域や目的に応じて、これらの交通機関を利用してほしい。

**議員** AI運行エリアでは利便性が上がる一方、その他のエリアでは利便性が悪くなり、地域間の不公平が大きな再編案と一見して分かる。市長公約でもあるAI交通に期待していた市民も多い。

**議員** 特定の事業者、団体、個人だけに偏らず、市民の声を第一に考えるべき。市全体のニーズの把握が全然足りていない。広く市民の声を聞き、各地区のニーズをしつかり把握し直し、再編案を見直すよう要望する。

## 子育て世代にとつての魅力あるまちづくりに向けて

山村 尚 議員



**議員** 子育て世代が移り住むまちを選ぶ時、まちの持つ魅力、イメージは重要なポイントとなります。当市は県内有数の一人当たり公園面積をもつまちであり、また、豊富な歴史的文化財を有します。これら子育て世代に魅力として写すには、適切な整備、活用、PR等が必要と考えます。

**議員** 「子育て世代にとつての魅力あるまち」とは女性にとつて希望のもてらるまちです。女性視点の意見が重要と考えますが、当市の考えは、

**総合政策部長** 人口問題対策推進本部を5月に設置しました。市長を本部長、女性職員、民間女性を構成員とし、女性視点の意見を集約するワーキングチームを立ち上げ、今後の施策につなげていきます。

**議員** まちづくりには女性や若者の視点が必要で、大学や高校が集積されている当市のもつ環境を活かし、これらが連携、学生視点も取り入れた協働による魅力あるまちづくりをオール龍ヶ崎で進めていってほしい。

## コミュニティバス等、再編後も 市補償額1億6500万!

大野 誠一郎 議員



**議員** 公共交通再編案のコミュニティバス、AIオンデマンド、乗合タクシーの運行に係る、市の補償額の削減の見込みについて伺います。

**都市整備部長** 令和5年度の実績は、コミュニティバスの運行経費が2億円、運賃収入額が約2千万円、差し引くと、市の補償額は約1億8千万円となります。

**再編後のコミュニティバス、AIオンデマンド交通について、事業者からの聞き取りによる運行経費の合計が約1億8千万円。再編後の基本運賃や令和5年度の実績から試算した運賃収入額の合計額が約2千万円となりますので、市の補償額は約1億6千万円となります。**

議員 乗合タクシーに係る補償額が令和5年度と同様に考えた場合、市の補償額の合計は1億6500万円となりますことから、現時点の試算では市の補償額は約2千万円削減できると考えています。

議員 東部地域におけるAIオンデマンド交通の本格運行に向けての市民の意見聴取は?

市長 再編については、市民に説明会が始まるんではないけれども、それについてはしっかりと市としてやっていきたいというふうに思います。

議員 市長の公約は全市のAIオンデマンド交通の実現ですが、東部地区限定のAIオンデマンド交通になったことを説明、意見聴取は?

市長 私がいろんなところの集まりに行く中でも、市民の皆さんと話す機会等がございます。

## 北竜台地区の 再生計画を策定すべき

加藤 勉 議員



**議員** 北竜台地区は入居開始から40年以上が過ぎ、少子高齢化の進行や人口減少などにより、様々な課題が顕在化しています。

国では、高度経済成長期を中心に大量に供給された、主に郊外型住宅団地再生のための手引きなどを作成しています。その手引きなどを読み込めば、郊外型住宅団地である北竜台地区の再生計画を作成しない理由が見つかりません。市として再生計画に着手すべきではないでしょうか。

**市長** 今後については、時代の変化に対応した高齢者の暮らし易さや若者にとつての住み易さ等、多世代がともに住み続けられるまちづくりを多角的に進める必要があります。

年度当初には、北竜台地区の今後のまちづくりの在り方について、竜ヶ崎ニュータウン施工者のUR都市機構との意見交換を指示しており、国が示す手引きなども参考にしながら、今後の北竜台市街地のまちづくりを検討してまいります。

**議員** 最後に提案ですが、①北竜台地区の再生計画策定を検討するのであれば、若柴・台の下地区を取り入れるのか、その可能性を模索してほしい。②松葉小学校用地に松葉コミセン用地と松葉第3児童公園用地を加えた形で、懸案の竜ヶ崎保健所の移転を検討してほしい。③学校跡地については、住民の皆さんの意見を伺うことが前提ですが、多世代共生型の住宅団地への再生を図るために活用されたい。

**掲載以外の質問項目**  
◆龍ヶ崎市の緑の管理とは

## 小、中学校の給食費 無償化について

櫻井 速人 議員



**議員** 一年前にも質問させていただきましたが、その後、県内市町村の取り組み状況に変化はありますか。どう感じていますか。

**教育部長** 今年2月の時点で今年度から恒常的な小、中無償化が1町、中学校に限るが1市、期間限定の取り組みが3市という確認が取れました。

**議員** 給食費無償化について現時点で当市はどのようなにお考えでしょうか。

**教育部長** 取り組みが県内で広がり始めていることは十分認識しているが、財源確保が大きな課題であります。学校校長会より国に要望を提出したところでもあります。昨年から実施の子育て世帯負担軽減を継続しつつ、給食の品質保持と安全安心な提供に努めてまいります。

**掲載以外の質問項目**  
◆当市の玄関口である龍ヶ崎市駅ロータリーの早急な交通混雑の緩和対応と駅周辺の開発について  
◆住宅街内への新規集合住宅建設における近隣既存住民、住宅の安全確保について  
◆通学道路路標示の明確化について